(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和　4年　　9月　　20日　　企業･団体名：山本建設株式会社

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場･社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ･性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		･採用、教育、昇進･登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築している（相談窓口の設置） ･差別禁止に関する、社員人権講習会を実施している				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ･セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール･教育･相談体制を整備している	●		･ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ･ハラスメントに対して外部研修の受講を行っている ･ハラスメント相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ･男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		･高知県ワークライフバランス推進企業として認証を取得している ･女性が活躍できる職場をサポートするため女性専用トイレ及び更衣室の設置をしている ･産前産後休業や育児休業、育児休業給付、また産休中･育児休業中の社会保険料の免除等の行動計画を策定している					5.1			8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ･外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		･外国人労働者等の差別禁止に対する人権研修会へ参加している ･本社を健康診断の場所として提供し、外国人労働者を受け入れている隣接企業等と合同で健康診断を受けている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ･業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		･毎月1回社内安全衛生会議を行い、議事録にて社内共有および周知している ･定期的に安全衛生大会及び講習を実施している ･安全衛生パトロール点検を実施している			3					8			11.b						
	6	【メンタルヘルス】 ･労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		･メンタルヘルス不全等の私傷病による休職･復職に対応した就業規則を整備している			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ･多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		･多様な人材が活躍できる社内制度を設けている ･多様な人材の活躍状況をHPおよびSNSや広報誌、県内の情報誌等で積極的に発信している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ･適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		･研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している ･職業能力の開発･向上を目的とする教育訓練の受講を希望する場合において、教育訓練休暇を付与している				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ･雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		･働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し従業員の公正な待遇を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ･従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	･健康診断後に保健師による指導を行っている ･現場ごとに熱中症対策キットの設置を行っている ･社内にて血圧測定を設置し、測定の推進をしている			3					8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ･新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	･事業所や各現場にコロナ対策のポスターを掲示している ･手洗い、マスク着用を徹底している ･Zoomによる説明会等のオンライン参加やウェブ会議の導入をしている ･各現場に体温計やアルコール消毒の設置、本社各入り口に消毒液の設置をしている ･打合せでは換気を行うとともに、マスク着用を徹底をしている ･食堂室では机の配置を変更し、対面および隣同士にならないよう自分の配置を決めている			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ･労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ･アフターコロナ時代における社会･経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	･建設工事等に係る入札･契約手続関係書類等の電子化を進めている ･Zoomによる説明会等のオンライン参加やウェブ会議の導入をしている ･ICT工法やマシンガイダンスの導入をしている								8	9.1		11	12					

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		・エコアクション21を取得している ・環境経営方針にて「本社・建設工事における廃棄物発生量の削減およびリサイクルに努める」ことを明記し、取り組んでいる 【一般廃棄物】 ・ゴミの分別、シュレッター使用によるゴミ容量の縮小 ・ミスプリントの裏面使用 ・両面コピーの推進 【産業廃棄物】 ・産業廃棄物の分別を徹底 ・伐採木等の有効利用の促進 ・使用済インク、トナーカートッリジ等の回収返却の実施 ・環境推進トナーの購入促進 ・OA機器故障時は可能な限り修理を行い、修理不可の場合は購入時に下取りに出す											11.6	12.4		14.1	15		
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・エコアクション21を取得している ・低燃費車による相乗り移動の推進をしている ・エコドライブの周知および実施をしている ・施工方法や作業方法の見直し、エネルギーの効率的利用および消費抑制に取り組んでいる ・ICT工法を活用し、業務効率化を図っている ・節電に取り組んでいる							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・エコアクション21を取得している ・毎月、電力使用量や化石燃料使用量を計測し、CO2排出量を算出している。単年度および中長期の削減目標を定め排出の抑制に取り組んでいる。 ・主要工事について、CO2排出量を算出し、CO2削減に取り組んでいる ・建設機械などの省燃費運転を推進している ・ブラインドによる熱調整や窓の網戸化により、冷暖房使用の抑制を行っている							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・【該当なし】有害物質を使用していないことを社内で確認している			3.9			6.3						12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・環境に配慮した製品を使用している ・生態系や環境保全に配慮した工法を活用している ・近自然型工法（ふとんかご、かごマット、緑化シート等）を使用することで、生態系や環境保全に努めている ・建設現場周辺の事前環境調査の実施および対策を行い、自然環境を把握している ・地域貢献活動「佐賀の伊与木川を守る会」に協賛・参加し、地元保育園児とともに稚鮎やうなぎの放流を行っている						6.6						12		14	15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・建設現場で発生する建設副産物や混合廃棄物を分解・分別し再利用率向上を目指している ・鉄鋼副産物から製造されたリサイクル製品を使用している ・再生用紙の利用をしている ・詰め替え容器の使用している ・グリーン購入や森林認証PEFC印刷用紙を購入している											12	12.5		14.1	15		
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	・水利用状況を把握し、節水の呼びかけ等を行い使用量削減に努めている ・社内にて使用している製水器から排出される分解水を掃除・洗濯等に有効活用している ・建設現場での排水の汚濁防止対策の実施、水質汚濁の少ない工法を活用している						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●	・エコアクション21を取得している（2011年7月27日認証取得）			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	・毎年、環境経営レポートを発行し、HPにて公開している ・HPやSNSにて環境への取り組みを公開している												12.6					

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	・施工方法や作業方法の見直し、エネルギーの効率的利用および消費抑制に取り組んでいる ・低燃費車や省エネモード搭載の重機および省エネ機器を導入している							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	・森林認証PEFC印刷用紙を購入している ・高知県産の間伐材や木材を使用し、森林資源の持続的利用に努めている												12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●		1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている ・毎月行う社内安全衛生会議にてコンプライアンス内容の周知を行なっている																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・適正で公正かつ透明な事業活動を行う旨を行動規範に明記し、履行徹底を図っている																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・過去工事における、専門技術的な事案や知識を社内共有サーバーにて共有している								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・個人情報保護規定を整備しており、情報漏洩防止を徹底している ・個人情報を適切に管理している																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	・【該当なし】紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している																16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●	・ハラスメント・汚職・贈収賄防止についての認識を共有し、共に取り組んでいる					5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・社内に品質証明員を配置し対応している			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・社内検査を充実し対応している ・社内規格値を定め検査を実施している									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・グリーン購入や森林認証PEFC印刷用紙を購入している ・再生用紙の利用をしている ・環境負荷の少ない建築材の使用、再生資源の積極的利用に取り組んでいる						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	・高知県産の間伐材や木材を使用し、資源の有効活用及び地域林業の活性化を促進している						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・着工前に近隣住民様への挨拶および事前周知をしている ・地域住民の方々を交えた防災訓練を実施している				4					9		11	12		14	15		17

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域貢献	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・毎月1回県道25号線のロードボランティア(清掃活動)を行っている ・毎年「88クリーンウォーク」へ参加している ・NPO法人「環境の杜こうち」へ寄付し「交通エコポイント」への還元を行っている ・工事期間中に備蓄していた防災用品を、工事完了後に寄贈 ・作業服の古着を寄付することで、現地雇用ならびに国内での障がい者雇用機会の創出へ繋げ、世界の子ども達へポリオワクチンの寄付に貢献している ・「佐賀の伊与木川を守る会」環境保護活動への協賛・参加を行っている ・中山間地域における特色ある学校づくり推進事業への協力を行っている(佐賀小中学校連携の人材バンクの登録等) ・本社や現場にAED（自動体外式除細動器）を設置している			3.3	4		6.6					11	12.5		14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・型枠や、建築で使用する木材等は、高知県産の間伐材・木材を使用し、資源の有効活用及び地域林業の活性化を促進している								8	9		11	12			15		
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・社内報や掲示板で法令遵守の重要性を全従業員に向けて発信している ・法令遵守の方針を立て、各種法令の遵守徹底を図っている ・毎月行う社内安全衛生会議にてコンプライアンス内容の周知を行なっている																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営理念を明文化し、社員が理解している								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・組織体系図を作成し担当部署の内容を理解している																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・外部通報窓口を設置し対応の一元化を図っている																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・法令遵守の方針を立て、各種法令の遵守徹底を図っている ・毎月行う社内安全衛生会議にてコンプライアンス内容の周知を行なっている																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・想定されるリスクを特定し、プロセスの管理を行っている																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・CSR方針を策定し、HPにて活動内容の公表をしている																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・災害に備えてBCPを策定し、年に2回の訓練・見直しを行っている ・新型コロナウイルスに対しての対策ポスターの作成・掲示をしている ・社内または下請作業員が、新型コロナウイルスに感染した場合のガイドラインを作成している ・全従業員に避難グッズを支給し、各々で保管している ・現場事務所に持ち出し用の防災リュックを設置している									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・2021年10月 代表取締役社長の交代								8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・定期的に避難訓練および情報連絡訓練を行っている ・事業所において、ヘルメットやトイレットペーパー、食料など備蓄している ・全従業員に避難グッズを支給し、各々で保管している ・従業員にハザードマップを周知している ・BCPを策定している				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・なでしこBC連携へ加盟し、パトロールを実施している ・消防団協力事業所である ・国や県、市等と災害時における協定を締結している ・災害対応拠点にて定期的に炊き出し訓練、消火・土のう訓練等を実施している ・防災、防犯活動、河川・道路の環境保護活動に取り組んでいる ・【予定】社員の防災士資格取得予定	1.5		3	4	5					10.2	11.5	11.b	13.1			16	17

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・SDGsに関する研修やセミナー等へ積極的に参加し、SDGsに対する意識向上を目指している ・SDGs宣言を行い、HPやSNS等に活動内容を発信している ・SDGs宣言および活動に対する横断幕を作成し現場に掲示、また事業所へポスターの掲示をしている ・Kochi SDGs Actionへの参加	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・地元の高校等と連携し、ICT講習等の出前授業を行っている ・地元の学生を積極的に雇用している ・インターンシップを受け入れている ・地元の学生の職場体験の受け入れを実施している				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	・中山間地域における特色ある学校づくり推進事業への協力を行っている(佐賀小中学校連携の人材バンクの登録等)				4.4				8	9		11						